

令和5年度 学生FD CHAmmit 学部提案書に基づく学生への回答書

【工学部】

1 学生との協議の場について

実施日	実施内容
令和6年1月27日	FD CHAmmit参加者（教職員含む）及び学生スタッフ、FD委員長、FD副委員長、教務課員の計11名が対面及びオンラインのハイブリッド形式で、学部提案書について約1時間30分程度、回答内容を共有し意見交換を行い、工学部FD委員会で協議した。

2 工学部から学生へのメッセージ

<p>令和5年5月からコロナが5類へと移行して以降、皆さんはようやく自由に行動できるようになったことと思います。日本大学学生FD CHAmmitにつきましても、4年ぶりに完全対面方式で実施できました。工学部の授業においては、コロナ禍では感染対策と教育効果の両立を第一とし対面授業とオンラインを適切に組合せながら行って参りましたが、現在は完全対面としながらオンデマンド教材等も組合せ、学生の皆さんの教育効果の向上を図っております。今回いただいた学部提案書では、コロナ禍で制限を受けていたものが現在は制限なく実施しているもの、またカリキュラムの進行に伴い来年度から対応可能になるもの、あるいは次のカリキュラムで検討を要するもの、そして即時改善したものなど幅広い提案をいただきました。ありがとうございました。</p> <p>予測不可能な時代に、常識に捉われず、コロナ禍そしてアフターコロナの時代に工学部で学んだ貴重な経験を生かせるよう、さらに「自主創造」を実践し社会で活躍できるエンジニアを輩出するため、教育の改善に努めて参ります。</p>
---

3 学部提案書の対応について

「理想の学部」にするための提案について

項目	対応済	対応中	検討中	対応内容
第二外国語が学べる環境を作りたい。			○	現在の本学部カリキュラムにおける外国語科目については、国際共通語と言われる英語のみですが、次期カリキュラム策定に当たり、第二外国語科目について当該語学の選定や担当教員の確保等の問題等があるため、設置可能かどうか検討いたします。
授業について、対面とオンライン授業の選択ができるようにしてほしい。オンライン授業については、オンデマンド授業を増やしてほしい。	○			本学部は通学課程の大学ですので、アフターコロナの現在、対面により授業を展開するのが基本ですので、オンライン授業の選択やオンライン授業を増やすことは難しいと考えております。 しかしながらコロナ禍で得た知見であるオンラインでの学修については、科目によりclassroomやポータルサイト上に教材をオンデマンドでアップしておりますので、ご活用いただければと思います。
英語（TOEIC）のサポートをしてほしい。	○			令和6年度から、3年次設置の外国語科目として「英語CⅠ」及び「英語CⅡ」が開講されます。これらは応用的な学修内容となっており、ビジネス英語を中心に扱いTOEICの試験内容も盛り込まれる科目ですので、スコアアップにつながります。 他にも、課外講座として「TOEFL・TOEIC入門」を通年で開講しておりますので、ご活用ください。
同一科目であるのに、各クラス担当の教員によって授業で計算に使用する公式や解法が異なる部分があったため、統一してほしい。	○			同一科目であれば、シラバスも同一ですので教員が異なっても基本的には授業内容や教材も同一のはずですが、当該教員により教授法が一部異なる部分があったかもしれません。内容を確認した上で、クラス相互で統一を図るよういたします。
教員に気軽に質問できるようにしてほしい。	○			各科目担当の教員ごと、オフィスアワーとして質問等を受け付ける時間を設けておりますので、研究室を直接訪ねるか、あるいはシラバスに記載しているアドレスへのメールでも結構ですので、遠慮せず気軽に質問してください。 他にも、大学院生に基礎的な内容の学修支援が受けられるチューター制度がありますのでご利用ください。実施日については、学科ごとポータルサイトに掲載されております。
講義のみならず、学生同士によるグループディスカッションなど、アクティブラーニングをもっと行いたい。	○			コロナ禍の授業では、対面でアクティブラーニングを行うことが難しい状況でしたが、現在は制限なく行えます。1年次の「自主創造の基礎」や、各実験・実習科目、3年次の「ゼミナール」や4年次の「卒業研究」等のアクティブラーニングを含む科目で積極的に取組み、実りあるものにしてください。 また、次期カリキュラムの策定に当たっては、よりアクティブラーニング科目を増加させていくかどうか等について、現在のカリキュラムを基に検証いたします。
冷房の温度を各教室で設定できるようにしてほしい。	○			70号館各教室の冷暖房については、オン・オフスイッチのみで館内で地球温暖化対策を踏まえ集中管理しておりますが、一定範囲内での温度調整は可能ですので、寒すぎる場合や暑すぎる場合、一旦冷暖房を止めるか、70号館警備員等に申出てください。
カフェテリアや学生食堂の音楽を適切な曲にしたい。	○			カフェテリア及び学生食堂の音楽については、有線音楽放送サービスを提供しておりますが、場の雰囲気や年齢層等に合うよう現在のチャンネルから変更し、かつバリエーション豊かになるよう、定期的にも変更して参ります。
学科を超えた学生同士や、先輩と在学生とが交流できるような行事等をした（CHAmmitのようなイベントや、就職活動で先輩との交流）。	○			コロナ禍ではオンラインでの開催など制約がありましたが、現在は対面あるいはオンラインそれぞれのメリットを活用して行事等を開催しております。 学科を超えた取組みでは、「ワールド・カフェ」や「日本大学学生FD CHAmmit」についても完全対面での実施に戻っております。 就職活動における先輩との交流では、内定を決めた学生が研究室ごとに交流することや、「就職活動体験」としてまとめた資料をポータルサイトにアップすることで、学科を超えてオンデマンドで閲覧できるなど、それぞれの良さを取り入れ実施しております。他にも、リクレーターとして卒業生が大学に来たり、またキャリアガイダンスやセミナーではOBやOGが参加し直接相談できるような企画などもありますので、こちらもご利用ください。
成績の開示について、4年生など履修科目が少ない学生についてはもっと早く開示してほしい。	○			成績の開示については、学生個人の履修科目の多寡によるものではなく、全学生の成績が確定するまで開示できないことをご理解ください。しかしながら、今年度の前学期分については、ポータルサイトでの成績開示をこれまでより早めてガイダンス日の前に開示するなど、サービス向上に努めております。

※令和6年4月1日現在の対応内容となっており、今後の状況によって変更する可能性があります。